

皆様、

2009年シドニーでのICJLEについて、トムソン先生よりのお知らせです。

どうぞよろしくお願いいたします。

マギー梁

2008年7月31日

シドニーのトムソンです。

もし可能でしたら、以下をみなさんの関係学会メンバーに送付していただ
けませんか。日本語教育関係者だけでなく、日本学、日本研究の方の方
にも送っていただけると幸いです。トムソン

学会のお知らせ

JSAA-ICJLE2009

豪州日本研究大会・日本語教育国際研究大会

2009年7月13日-16日

シドニー、オーストラリア

豪州日本研究学会 (JSAA) は、オーストラリア、シドニーにて

2009年度豪州日本研究大会・日本語教育国際研究大会

(JSAA-ICJLE2009) を開催します。JSAA-ICJLE2009 は、豪州日本研究学会 と各国の日本語教育関連学会を一堂に集結するもので、オセアニア地域初の画期的な研究大会と言えます。JSAA-ICJLE2009 は、2007年の第15回JSAAキャンベラ大会を継承すると同時に、1998年に東京で始まり、2000年ソウル、2002年北京、2004年東京、2006年ニューヨーク、2008年釜山と開催されてきた日本語教育国際研究大会を継承するものです。

研究大会は7月13日の夕刻、ニューサウスウェールズ州立美術館 (The Art Gallery of New South Wales)にて開会し、14日から16日までの研究発表はニューサウスウェールズ大学にて行われます。また、大会晩餐会は歴史あるシドニー大学のマクローリン・ホールにて15日に開催されます。

JSAA-ICJLE2009 は、日本研究、日本語、日本語教育の様々な分野の研究発表や討論の場を提供します。大会のテーマは「日本語と

日本研究の協働」で、世界各国の日本語研究、日本語教育研究、日本研究の多様な分野の研究者、教育者、学習者が一堂に会し、専門領域を超えた交流、討論が活発に行われることを期待します。さらに、大会は教育機関の制約を超えた交流も目指し、小、中、高校、大学の教育者がそれぞれの見地に立ったアイデアを共有し、検討する場を設けます。

基調講演は、オーストラリアを代表する言語政策の専門家、ジョセフ・ロビアンコ氏 (Professor Joseph Lo Bianco, The University of Melbourne) をはじめ、各界の第一人者を予定しています。基調講演、研究発表に加えて、ポスター発表、各種展示も行います。

ぜひ、ご参加ください。

なお、学会の情報は下記のホームページで随時更新して行きます。

<http://jsaa-icjle2009.arts.unsw.edu.au/jp/index.html>

大会運営委員会

トムソン木下千尋

Chihiro Kinoshita Thomson
Language and Linguistics Editor of *Japanese Studies*
Member of Executive Committee
Japanese Studies Association of Australia
Associate Professor of Japanese Studies

University of New South Wales

c.thomson@unsw.edu.au